

博物館展示論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと。)

1. 次の①～⑤の()について、下の語群から最も適切な語句を選び、文章を完成させなさい。(各2点)

美術館・博物館にとって所蔵品の保存は重要な役割であるが、現在、積極的な活用が望まれている。

皇居三の丸尚蔵館は、皇室に伝わる資料・作品が国に寄贈されたことから、それらの保存管理を担う施設として1993年に開館した。その後、さらなる寄贈により所蔵品が増加したことから、その拡充とともに公開施設としての展開が図られている。

所蔵品の中には、国宝が含まれ、藤原定家による写本であり菅原孝標女が著した(①)、狩野永徳・常信による六曲一双の(②)、伊藤若冲による30幅に及ぶ(③)や、また明治時代に設けられた美術家・工芸家の保護奨励のための顕彰制度である(④)に任命されたつくり手による資料・作品なども多い。

公開を図る活動として地方展開がみられるが、国民文化祭及び全国障害者芸術・文化祭の開催地にたつ美術館・博物館への貸出はその一例である。2021年和歌山県立博物館と和歌山県立近代美術館、2022年沖縄県立博物館・美術館、2023年石川県立美術館と(⑤)において、貸し出された資料・作品が展示され、広く公開される機会となった。

土佐日記、更級日記、伊勢物語、源氏物語図屏風、鳥獣花木図屏風、動植綵絵、唐獅子図屏風、洛中洛外図屏風、果蔬涅槃図、出光美術館、帝室技芸員、人間国宝、国立工芸館、金沢21世紀美術館、ものづくりマイスター

2. 次の①～⑩の用語の中から5つ自由に選び、それぞれの用語について、番号を記して1行以内で簡潔に説明しなさい。(各3点)

- ① 生態展示
- ② デジタルアーカイブ
- ③ 演色性
- ④ クレート
- ⑤ ヴィジブル・ストレージ
- ⑥ ワシントン条約
- ⑦ ウォールウォッシャー
- ⑧ 卦算
- ⑨ プラスティネーション
- ⑩ ギャラリートーク

3. 5月18日はICOMによって「国際博物館の日」と定められている。毎年その日を記念し、各地の博物館は、通常の入館時とは異なる体験を提案する事業を実施している。どのような事例が見られるか。日本国内の博物館で実施されている例を1つ取り上げ、その事業の特長を200字程度で説明しなさい。なお、閉館した施設の例や、過去に実施され現在終了している例も認めるものとする。(20点)

4. 展示室内での鑑賞者の混雑を防ぐ、ないし緩和するための策や工夫として、どのようなものがあるか。できるだけ種類・性質の異なるものを三つ具体的に挙げ、その直接的な効果等も含めて、250字程度で説明しなさい。(25点)

5. 博物館展示の基本理念の観点から、資料・作品を単に並べることとそれらを「展示」することとの違いについて、250字程度で論じなさい。(30点)